

白樺文学館インフォメーション

放談くらぶ「稲村雑談－志賀直哉と小熊太郎吉－」

日 2月21日(出)14時～16時  
所 アビスタ  
内 「暗夜行路」の草稿を託された小熊太郎吉と志賀直哉について解説  
講 稲村隆さん(文化・スポーツ課学芸員)  
定 先着35人(要申込)  
費 300円(会員無料)  
申 我孫子の文化を守る会・佐々木 ☎090-2594-0425

白樺文学館コレクション展

「没後90年 原田京平コレクション」

日 3月5日(休)～6月7日(日)9時～16時30分(入館16時まで)※(月)休館(祝)休(休の場合は翌平日)  
所 白樺文学館  
内 我孫子を描いた画家・原田京平の資料を紹介  
費 入館料(申込不要)



▲原田京平「ハケの道と手賀沼2」

臨時休館

日 3月3日(休)・4日(休)

入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下無料)  
問 白樺文学館 ☎04-7185-2192

水の館プラネタリウム

星空コンサート

日 3月1日(日)①13時～②15時～(各回45分)  
※当日の定時上映は行いません。  
星空解説 駒井仁南子さん  
演 ピアノ&ボーカルユニットCHITTA  
定 各回先着50人※小学生以下は保護者同伴  
費 300円(申込不要)  
券 上映の60分～10分前に水の館3階手賀沼課



所 問 水の館 ☎04-7184-0555

鳥の博物館

インフォメーション

特別企画展「日本の鳥」

日 2月28日(出)～6月28日(日)9時30分～16時30分(入館16時まで)  
所 鳥の博物館  
内 鳥の博物館は、日本産鳥類の全種の剥製標本収蔵を目指しています。今回、過去最大数の標本を展示します。  
費 入館料(申込不要)



▲過去の展示(カモ目)

実験講座 鳥のDNA分析入門

－DNAで鳥の性別を調べてみよう－

日 3月8日(日)13時～16時  
所 鳥の博物館  
内 DNAを増やすPCRやピペット操作で、鳥の性別を調べる実験をしよう！  
講 望月みずきさん(鳥の博物館学芸員)  
対 中学生以上  
定 参加者4人、見学者4人(抽選)※要申込  
費 参加者500円、見学者無料(別途入館料)  
申 2月17日(休)～25日(休)にちば電子申請サービス



▲DNA実験の様子

ちば電子申請サービス▶



あびこ自然観察隊「春の谷津田観察会」

日 3月8日(日)9時～12時※雨天中止  
所 東我孫子駅南口集合※駐車場なし  
内 岡発戸・都部で春の生き物を観察します。  
定 先着20人(要申込)※小学生以下は保護者同伴  
費 300円(中学生以下100円)  
持 双眼鏡(お持ちの方)※動きやすい服・運動靴着用  
申 2月18日(休)8時30分～28日(出)にちば電子申請サービス



▲春を告げるニホンアカガエルの卵

ちば電子申請サービス▶



入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下無料)  
問 鳥の博物館 ☎04-7185-2212

図書館員が選ぶこの一冊 No.93

『受け月』 文藝春秋  
伊集院 静／著

名門社会人野球チームを長年率いた老監督・鐵次郎は、自身が育てた後輩から、監督の退任を告げられる。「自分の野球スタイルはもう古いのか？」と悩む中、迎えた引退試合の勝敗の行方は……。

野球に人生を捧げてきた鐵次郎だったが、孫娘や妻、チームの選手の思いに触れ、心に変化が生まれる。



表題作をはじめ、亡き夫が好きだった野球をする息子を心配する母親や、無口だが草野球をきっかけに常連客と打ち解けていく料理屋の店主など、野球にまつわる短編小説集。第107回直木賞受賞。



消費生活センターだより 158回

ギフトカード購入は正規ルートで

事例 格安チケット店で購入したギフトカードをオンラインショップで使ったところ、購入手続きが最後までできず、その後、アカウントがロックされてしまった。

格安チケットショップにはさまざまなギフトカードが売られていますが、不正カードが混ざっている場合があります、素人では区別がつかません。知らずに利用してしまうと、アカウントがロックされることがあります。

ギフトカードの残高が残っていたとしても、不正なものである以上は利用できません。このような場合、ギフトカードの補償をしてもらえるかどうかは購入したショップの規約によります。安全のために正規ルートで購入するようにしましょう。

相談受付 消費生活センター(アビイクオーレ2階<イトーヨーカドー我孫子南口店>) ☎04-7185-0999(月～金)10時～17時30分)

まち活ライターの

「あびこ」みつけ 第20回

問 市民活動ステーション ☎04-7165-4370

音楽の感動を届け続ける 布佐のアンサンブル・ルミエール

東日本大震災をきっかけに、布佐中学校卒業生を中心に結成された合唱団アンサンブル・ルミエールは



設立12年になりました。時を経てメンバーも仕事や家庭を持ち、市外在住者も増えています。それでも練習日には予定を調整して布佐に集まり、多くの場で歌を披露してきました。「活動を長く続けられるのは、団を支えてくれている団員と聴いてくださるお客様の存在が大きい」とコンサートマスターの當前一輝さんは話します。令和6年に目標だった初の自主公演を成功させ、令和8年3月に2回目を開催します。

まち活ライター 外園若菜